



仲間と自分アピール発表会 その2

昨日は、2回目の「仲間と自分アピール発表会」でした。3人の子ども達が、それぞれピアノ演奏や卓球玉突き、ダンスを披露しました。一人で発表するチャレンジ精神が「あっぱれ！」です。



「インディアンの踊り」



今回も多くの子ども達と先生方が仲間の発表に「頑張れ！」の声援や温かい拍手をおくってくれました😊



卓球玉突き10回
チャレンジ成功!



衝撃のキレキレダンス「&ME」

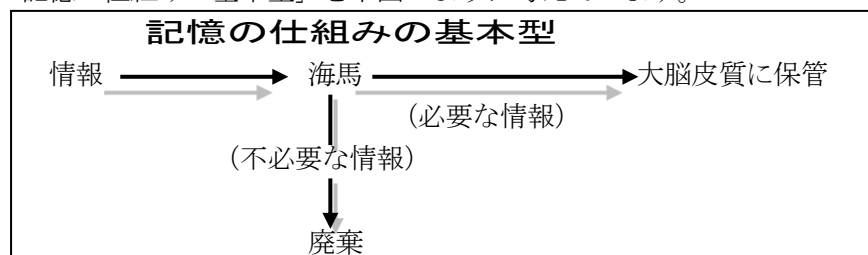
なぜ「復習」が大切なのか

授業中に分かったつもりでも、2～3日もすると忘れてしまった……。という経験がどの子にもあるでしょう。「そうならないようにするためには、どうすればよいのか？」答えは簡単。「学習したことを繰り返し復習する」ことです。しかし、当たり前なことなのですが、「なぜ、復習が大切なのでしょう」

以下は、復習の大切さについて、脳科学のメカニズムの説明を通して示したものです。今週は「家庭学習強化週間」です。家庭学習では多くの子が復習に取り組むことでしょう。高学年くらいのお子さんなら、下記の仕組みを説明してあげると、復習の大切さを理解し、意欲的な学びにつながるかもしれません。

＜記憶の仕組みの基本型＞

最近、脳科学や脳心理学が一気に進み、「記憶の仕組み」が明らかになってきました。最新脳科学では、「記憶の仕組みの基本型」を下図のように考えています。



まず、入ってきたたくさんの「情報」は、「海馬」に一時期保管されます。(短期記憶)

そして、その「海馬」で「情報」をふるいにかけます。「不必要な情報」は廃棄され、「必要な情報」と判断されたものだけは、「大脳皮質」に送られ、「長期記憶」として保管されます。

となれば、「必要な情報」となり、「大脳皮質に保管されるもの」は何かということになります。その中の一つはこれです。

何度も何度も繰り返し入ってくる情報

これは、一度ではない。二度でもない。何度でも何度でも繰り返し繰り返し、入ってくるものごと、ということになります。確かに好きな歌の歌詞や自宅の電話番号などは、何度も繰り返し繰り返し脳に入ってくるので自然に覚えていますね。勉強で言えば何か。それは、「復習」です。

復習することにより、初めて長期記憶として「大脳皮質」に保管されるのです。

このように、学んだことは一度で定着しない。「脳の記憶の仕組み」がそのことを教えています。

だから、復習が大切なのです。